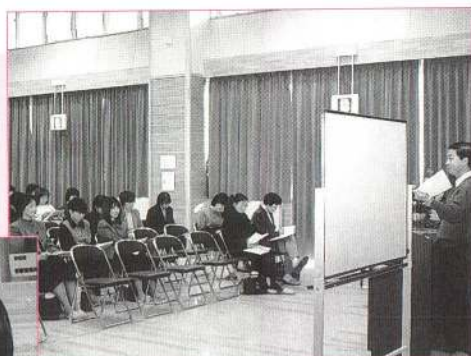


平成11年度大館市北秋田郡PTA
連合会母親懇談会研修会
今年度のテーマは「家族と健康」
(11月6日サンクレア大館にて)



平成11年度 大館市北秋田郡PTA連合会
母親懇談会研



児虐待などの悲劇が繰り返されて
います。いつの時代も、傷つけら
れ、犠牲になるのは弱者たちで
す。これは、もはや社会の病理だ
というほかありません。子どもた
ちから発せられた警告を、真正面
から受けとめていかなければなら
ないと思います。そのためにも、
まず、大人である私たち一人ひと

りが心を開き、信頼し合える関係
づくりをしていかなければならな
いのではないのでしょうか。そのた
めのPTAであり、組織なのだと思
います。それには、このような
組織が主体的に運営されることが
最も大切だと思います。「あなた
任せ」では、成長はありません。
母親ももはや「裏方」という存在

に甘んじることなく、父親、先生
方と共に参画し、主体的に活動す
ることが求められています。権利
も責任も同等です。様々なひとが
いろいろな意見を出し合って、形
式にとらわれず、子どもたちのた
めにどう行動することがよりよい
のか自由に話し合えるのがPTA
のすばらしいところだと思います。
「教育の民主化」を実現する力
として五十年前に全国に組織され
ていったPTA。そのアプローチ
の一つとして存在する「母親懇談
会」。与えられたチャンスを有効
に使えるように、多くのお母さん
たちに参画していただき「子育て
に少しでもヒントを」、そして
「あなたは一人ではない」という
メッセージを送り続けたいと思っ
ています。今後ともよろしくお願
いいたします。

親が苦勞をするのは あたりまえ

今、やつと手のかかる子育てを
終えて、振り返ってみたとき、子
育てに一生懸命であればあるほど、
親として本当に自分の子どもが見
えていたのだろうか、親の見えや
メンツのため、子どもの可能性や
将来性の目を摘み取っていたので
はないかと反省ばかりが出てきま

す。根元にたっぷり肥料をやっ
て、ゆつたりと太陽に当てて十分
に根が張るのを待つ、心のゆとり
がなかったように思います。

『へらず口もたたくし反抗も
してくる。親の思い通りにいか
ないことが多く出てくる。そし
て子育てが大変であればあるほ
ど、困難であるほど親も学び、
育てられる。苦勞するからこそ、
親としての成長がある』

と本で読んだことがあります。今、
子育てに悩み苦しむお母さんがい
るとすれば「あなたただけではな
い」ということと「子どもを育て
るのに楽なことがあるはずがな
い」ということを身をもってお伝
えたいです。そして、子どもの
「心のさけび」に気づいてやれる
お母さんであってほしいと思いま
す。「気づき」の場としていろい
ろな選択肢があります。その一つ
に「母親懇談会」があります。同
じ悩みや苦しみを持ち寄り、話し
合うことにより、何か一つでもヒ
ントになればすばらしいことでは
ないでしょうか。